

Leaving Care News つばき

-No.102-

110名のボランティアの皆様、御後援ありがとうございました。

(敬称略)

- | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|---|--------------------------------|---|--|--|----------------------------|
| 松江工業高等学校 宮脇拓馬 石倉伸彦 三島佑太 瀬崎良太 加納翔太 小島聖也 星野 亮 石原拓士 経理慎吾 今川 匠 寺本智洋 中島彰太 肥後祐貴 池田真美 池田真由 宮岡正行 | 清水淳司 松江包装資材(株) 呼谷博志 waiwaiクラブ 高木紀年 小西 誠 宮富 進 岩崎るり子 森山京子 梶原一枝 青山まゆみ 川田哲子 松江包装資材(株) 真効茂樹 城北ママさんバレー 山中美喜子 日清医療食品(株) 小松原一成 平野弘樹 鶴田由紀子 森本隆幸 長野 隆 安達敏郎 江角あすか 土江美奈夫 | 小山浩子 山下奈月 加藤綾香 清水雅紀 仙田智子 中河佳子 坂東摩耶 福井智子 本藤阿沙子 本池文乃 黒田真伍 申 承勲 高島智恵 森本靖子 山口奈津子 関本真理 山本真一 島根大学(看護専門員) 木瀬直子 松下裕香 境港工業高校 大塚理恵 大森 唯 足立愛美 足立美夏 要 静香 北村真奈美 青砥涼子 井田敬子 中西 茜 山崎梨奈 松原 聡 狭間俊希 西山亮太 岩崎沙織 松本ひろみ | ベリエ 新畑和久 東井規至 谷口 大 足立羊子 松江養護学校 松本道博 重吉信一 大橋正信 細田千裕 高橋節子 松江養護学校 安部昌志 小川喜久子 佐藤真司 岩本浩明 池田さゆり 和知宏美 長元 英 吉田理知 増田慎一郎 水上俊人 鹿島美佐子 | えさし生花 大園バン (株)神谷鉄筋 協和警備保障(株) クリエイティブプロダク ションアドス 建築技術センター(株) サキムラ(有) 島根電工(株) 親共鉄工所(株) 住商アイナックス(株) 田村電機(有) (有)デンタル・ユミー 田形動物病院 (有)司建設 永瀬石油松江北S.S 長谷川様 中村茶舗 日交整備(株) 日清医療食品(有) ひのき山ストア ひまわり会 双葉タクシー(株) ポーディングやどや 松江工業バレー部OB会 恩田有二様 松江設備工業(株) 松江土建(株) 松江木工所(有) 松本金物建材店 三浦工業(株) 持田公民館 民謡踊教室 持田寮保護者会 安島工業(株) (株)吉谷 米子ガス産業(株) (有)吉田技建 WAIWAIクラブ 和幸電通(株) 和幸冷温(株) ワタキューセイモア(株) | (個人) 青木 繁 安達広美 石川輝海 石飛 孝 井上鉄正 石橋道夫 井上寛巳 小草道男 片寄八重子 河原利行 門脇純枝 白根保典 田中 真 野津武夫 野津福一 野津 衛 長谷川暁一 肥後功一 (平成ニュータウン自治会長) 平野利政 前島由紀子 横本輝夫 宮廻美佐子 | 協賛品 遠藤昭雄 (野菜) (有)パッケージ センター松江 (果物) 原文タイプ (景品) 松文オフテック (景品) 大西頼宣 (メロン) アートアカデミア グラスハウス (額) | 御祝 小山 省 (お酒) 松江養護学校 (お酒) | 協賛店 ひまわり会 中村茶舗 やどや フアーム岸本 大園ペーカリー 株式会社パタカラ 松江包装資 ひのきやマスター | 協賛金・品 (企業) (有)天野板金 伊藤忠エネクスホーム ライフ中国(株) ういんぐ保護者会 | 東出雲ケナフの会 野々内さとみ 岸本治子 岸本陽子 ひかり協会 山延和子 松江土建(株) 深田 靖 吉田隆志 糸原資也 川津ママさんバレー 矢野和美 長嶺幸恵 河上摩耶 持田ママさんバレー 福田みよ子 和幸電通(株) 逸見義雄 宮廻祐介 清水 匡 黒崎 航 荒木紀子 金築奈々恵 黒崎加奈子 | 南風 美多芳一 勝部判夫 唯野裕子 |
|--|--|---|---|---|--|---|--------------------------------|---|--|--|----------------------------|

健康講座を開催しました

去る7月26日、持田公民館横のやすらぎ会館にて、秋広良昭先生(歯学博士・元東京歯科大学講師)を講師としてお招きし、健康講座を開催いたしました。秋広先生は「唇の筋力と健康」について研究しておられ、唇の筋力を強化する「パタカラ」という器具の開発者でもあります。千鳥福祉会では2年前よりこの「パタカラ」を使用した「唇トレーニング」に毎日取り組んでおり、週1回はやすらぎ会館での音楽活動にも取り入れております。以前もこの「つばき」でもご紹介しましたが、「パタカラ」を使用した「唇トレーニング」を行った結果、利用者の皆さんが風邪に罹りに

くくなりました。この取り組みを地域の皆様にご理解いただくために毎年健康講座を開催しています。

健康講座は今回で3回目の開催になりますが、秋広先生には主に、唇と健康の関連について、唇と美容について、唇のトレーニングについてのお話をいただきました。また最近では「唇と脳」との関係が明らかになっており、脳血管障害の後遺症で半身麻痺になられた方や認知症(痴呆症)の方に「パタカラ」を使用した「唇トレーニング」を実施したところ、それぞれ改善がみられたというお話も聞くことができ、改めて顔の筋肉の大切さを学ばせていただきました。また、参加いただいた方のお話も弾みました。パタカラを利用している方からは「このごろちょっとさぼっていたら、せっかく良くなっていた表情がまた元に戻ってしまっ。今日は、また刺激をもらいに参加したんですよ。」「このごろ目が覚めたら、口の中はカラカラで、きっと大口開けていびきをかいて寝ているんで



しょうね。無呼吸も怖いですね」「主人の健康で気になることがあって、今日は主人と一緒に来たんですけど…」今度お会いするときは、耳寄りなパタカラ効果を持ち寄りたいものだと思います。

千鳥福祉会では、週1回の頻度でやすらぎ会館で行っている音楽活動に参加される方を募集しております。音楽に合わせたレクリエーションと一緒に「パタカラ」を使用して健康的な生活目指しませんか?お申し込みは随時受け付けております。お気軽にお申し込みください。

福祉事情 Q&A (続) no.2

前号に掲載しましたQ「自立とは」「障害がある方はどれくらいいらっしゃるか」に対するAはいかがでしたか。いろいろな考えがあつていいと思いますので、読者の皆様からのご意見もいただければ喜ばれます。今回も続編をお送りします。

Q1:自立(経済的自立)とはどういうことでしょうか。

A:自立を身辺的な自立、精神的な自立、経済的な自立に分けて考え、前号で身辺自立と精神的な自立について述べてみました。今回、経済的な自立について触れてみます。

先日、外部からアンケートの依頼があり、いくつかの質問の中に偶然「持田寮に入所している方の経済的自立度について」というものがありました。ハンディキャップがあつて施設に入所している方の収入はほとんどが障害者基礎年金で、しかも無拠出年金です。自らが生活費を稼ぐということ

にはならないわけで、経済的自立度をどんな風に考えればいいのかと迷うところもありますが、ここでは、支援の側の考えとしてこんな風に考えて見ました。

「施設を利用されている方の主たる収入源は障害者年金か他の公的年金になるでしょう。もちろん中にはご家族からの経済的援助を受けている方もありますが、これは永久的に保障されるものでもありません。成人を向かえられたら、親子、財布は別と考えることが経済的自立の第1歩です。年金から自分の生活に必要なサービスを受けるにあたっての必要経費を差し引いた残金で、身の回りのものを購入したり、自分の楽しみに使うことを感覚的に覚えてもらうことから始まります。それは、定期的にお小遣いをもらえる年齢になったときの感覚に似ています。『お金を握って自販機に走る』『自分の財布にしまいこむ』この快感は人としての根源的なもののように思われます。そこから「楽しみに待つ」生活ができるようになり、更に、働いて「もっと大きな楽しみを待つ」生活

ができるようになります。たとえ自己管理ができなくても金銭管理の支援を受ける体制さえ確立すれば、経済的自立度を高めていくことが出来ると考えます。そして、施設では職員が金銭管理のお手伝いをしますが、グループホームはさまざまで、世話人、市町村の権利擁護システムを利用すれば福祉協力員の方、民生委員の方などケースbyケースです。経済はすべての基本ですからこれが大切です。」

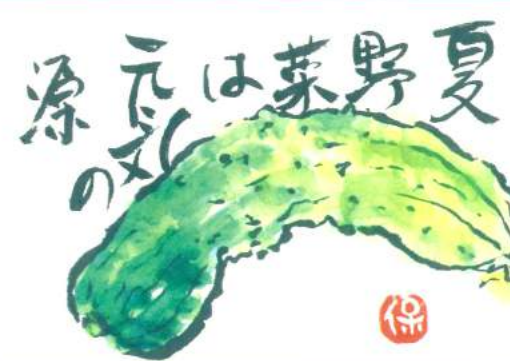
さて、前述のアンケートにはなんて答えましょうか。持田寮30名の方、働くこと(作業)にこだわってこられた方の人数を上げればいいのか。う〜ん…あなたならどうします?

持田寮30名の方、働くこと(作業)にこだわってこられた方の人数を上げればいいのか。う〜ん…あなたならどうします?



編集後記

「異常気象」という言葉が毎年更新され、「異常」が恒常化しつつある近年ですが、例に漏れず今年の夏も早くから酷暑に苦しめられました。そしてまだしばらくは、日中は真夏日が続きます。しかし、そんな中でも自然は必死に規則的な営みを守ろうとしているかのよう。今、庭の片隅から秋の虫の声が聞こえ始めています。昨年は26個の台風が日本に上陸し、度々その脅威に脅かされました。9月になり、地震、台風、政治の嵐と、今年の秋は一層激動の予感があります。せめてひととき虫の音に心を休ませてみてはいかがでしょうか。(遠所)



スポーツ ニュース

「第6回島根県障害者スポーツ大会 ボーリング競技会に参加しました。」

〜平成17年7月21日開催〜



普段の生活では発散できないようなひとときをすごしました。

地域生活体験「外垣」だより

お盆も近い「外垣」活動の日、障子の張替えをしました。こんな何気ない景色が施設の暮らしにはない。地域生活体験の場として借りている家、「外垣」の持ち主Mさんはご両親が亡くなられ入所になりました。毎週1回職員と決まったメンバーと家で過ごします。先日の相談日に「古くなっていらなくなった茶碗なんかを捨ててきれいにしたいけど…」と相談を受けました。こんな前向きな言葉が聞けるなんて、うれしい!



「この人等の個性認めて 日々すぐる」 (長野 和夫)





熱く! 熱く!

「地域に根ざす」という運営理念を掲げ平成13年に始めた夏祭り「もちだ&ういんぐサマーフェスタ2005」も今年は4回目となりました。数え切れないほどの各方面、団体様のご支援を得て無事に終えることができましたことに心よりお礼を申し上げます。

ちょっと大ききでしょうか、「燃焼しきった開放感、はらからの歓喜、大きな元気」を頂きました。来年もまたお会いできますように…

そして、ハンディキャップを感じさせない一日にしたいというスタッフの願いもかなったように、うれしいことこの上なし。 夏祭り実行委員会

共催：千鳥福祉会後援会、持田寮、L.C.C.ういんぐ保護者会、平成ニュータウン子ども会
後援：持田地区自治会連合会、持田地区社会福祉協議会



さっそうと現れた剣士に注目!



透き通るような歌声に会場はシーーン! (平成ニュータウン子供会)



かわいい浴衣姿に思わずシャッターを!



そろそろPM9時、最後となったピンゴ大会のトップ賞「デジタルカメラ」はかわいい小学生に!



もう一度あのころのように! もう一度聞きたい「石田光輝とGOZ'S」の演奏!



もちあげないとだめなのー!



もうこうなれば舞台の上も下もない!



もう一度あいたい、こんな笑顔



初回からお手伝いいただいているWA!WA!クラブのパザーブース



松江養護学校からはたくさんの作品を持っていただきました。



こんなナチュラルなやりとりが!



お手紙を頂きました。

初めて参加させていただき、皆さんのパワーにおどろきました。改めて、心をひとつにして、みんなが手をつなぐことの大切さを痛感いたしました。何事もそこが原点・・・と教わりました。